



RV-INNO

ストリームボックス取扱説明書

はじめに

このたびは、カーメイト RV-INNO ストリームボックスをお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書にはストリームボックスの取付・使用方法が記載されています。説明のイラストはBR403のイラストを使用しています。

この取扱説明書をよく読んで理解してから本品を使用し、記載事項全てを必ず守ってください。
この取扱説明書は、必要なときにいつでも読めるよう、できる限り身近に大切に保管してください。

本品をゆずられる場合は、次に使用される方のために本書も併せてお渡しください。また、本書をお読みになられた上で、ご不明な点がございましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

目次

はじめに.....	1	走行する.....	13
安全にお使いいただくために.....	2	日常のお手入れ.....	14
本書に記載する記号について.....	2	保管方法.....	15
必ず守ってください.....	2	各部の点検をする.....	15
部品内容を確認する.....	6	純正補修パーツのご案内.....	16
取付方法.....	7	お問合せ先.....	16
ステー・バーを車両に取付ける.....	7		
ルーフボックスの取付位置を決める.....	7		
ルーフボックスを取付ける.....	8		
ベルトを取付ける.....	9		
ベルトフックを取付ける.....	9		
ルーフボックス取付後の確認.....	9		
使用方法.....	10		
荷物を確認する.....	10		
荷物を積載する.....	10		
サポートブロック使用方法.....	11		
カバーを閉める.....	12		

安全にお使いいただくために

本書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。それぞれの記号とその内容は次のとおりです。



警告

警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。



注意

注意事項を守らないと、ケガを負ったり、製品・車両・積載物が損傷するおそれがあります。



参考

本品を使用する上で、知っておいていただきたいことについて説明します。

必ず守ってください

本品を安全に正しくお使いいただくために、次のことから必ず守ってください。

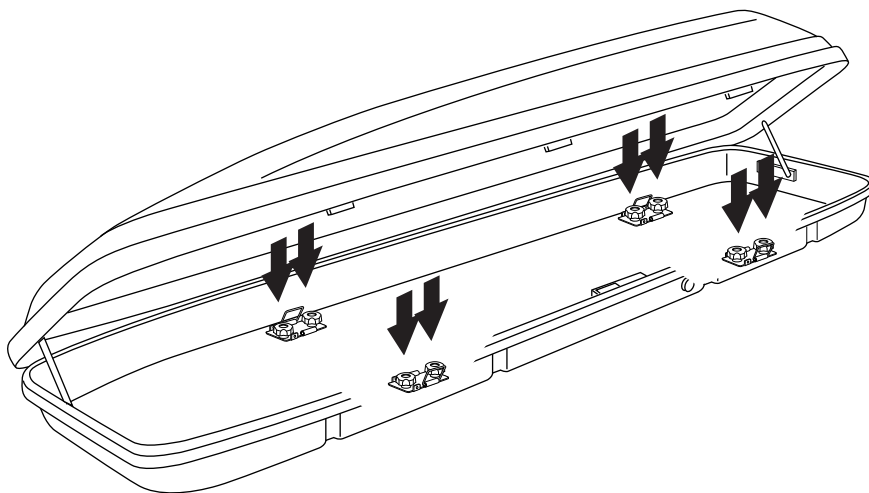


警告

取付上および使用上の警告

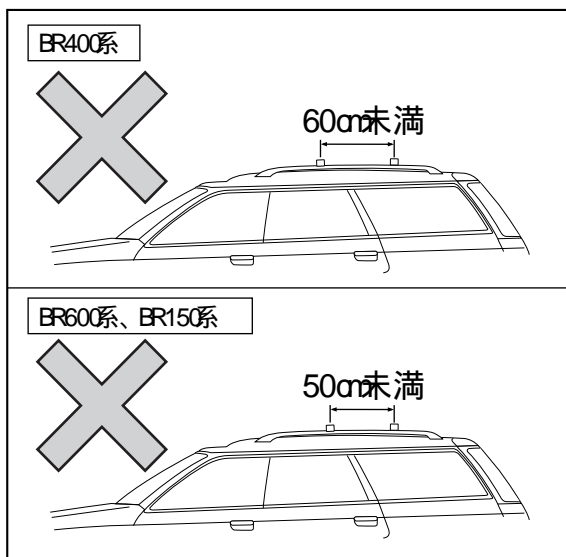
走行前に必ず前後合わせて8ヶ所のノブを点検し、ユルミがある場合は増し締めしてください。

ノブにユルミがあると、走行時の風圧・振動によりルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



警告

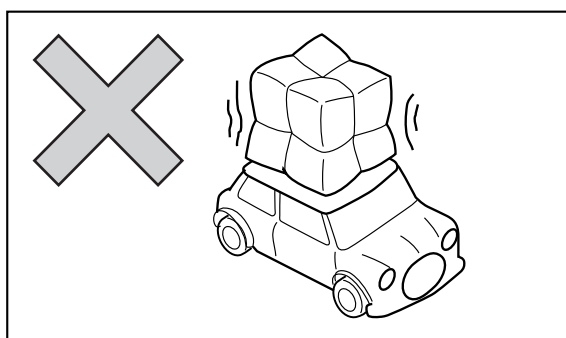
取付上の警告



バーの前後間隔は、BR400系は60cm以上、BR600系、BR150系は50cm以上とってください。

バーの前後間隔が狭い状態で取付けるとキャリアに無理な力がかかることによりルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

使用上の警告



最大積載量50kgを越えた積載はしないでください。また、車種により最大積載量が異なる場合があります。車種別適合表をご確認の上、最大積載量を算出し、50kgを超えない範囲で積載物を選択してください。

最大積載量を越えた積載をすると、ルーフボックスに無理な力がかかることによりルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

最大積載量の算出方法

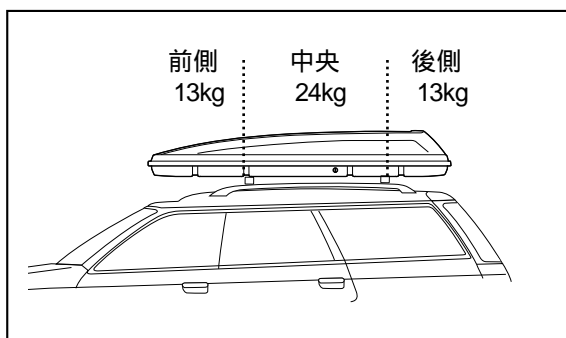
最大積載量
(50kgを超えない範囲)

=

ベーシックセット
最大積載量

$$- \left(\begin{array}{l} \text{ルーフボックス} \\ \text{の本体重量} \end{array} + \begin{array}{l} \text{他のアタッチ} \\ \text{メントの重量} \end{array} + \begin{array}{l} \text{他のアタッチメント} \\ \text{に積載している} \\ \text{積載物の重量} \end{array} \right)$$

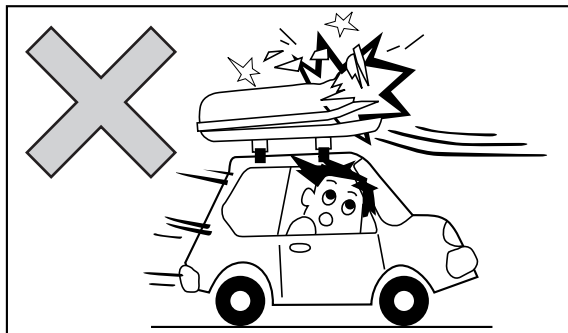
(他のアタッチメントと併用してお使いの方)



荷物を積載して走行する場合は、走行前に必ず荷物が平らで均等に積載してあるか確認してください。特に、前側には重い荷物は積載しないでください。

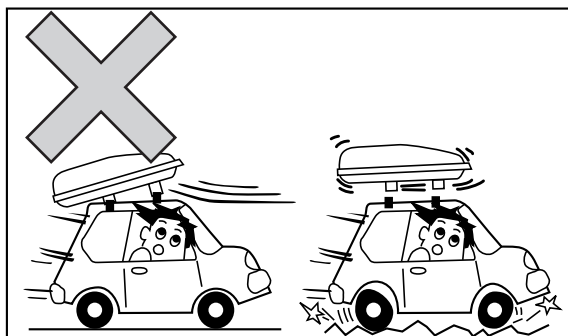
ルーフボックスの前側・後側だけに片寄って荷物を積載すると、ルーフボックスに無理な力がかかることによりルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

警告



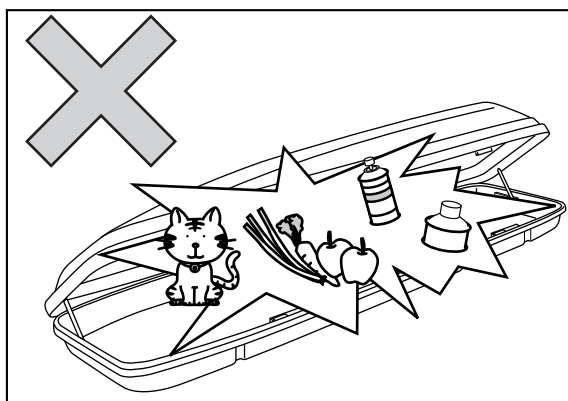
走行前に必ずルーフボックスのキーをロックし、カバーが確実に閉まっていることを確認してください。

カバーが確実に閉まっていない状態で走行すると、カバーが走行中に開いて、荷物の脱落や、風圧によりルーフボックスが破損し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



法定速度を守り、強風時や悪路では、特に速度を落として走行してください。

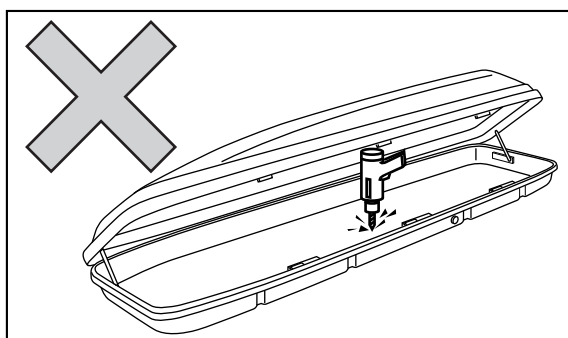
法定速度を越えた連続高速走行や強風時の連続走行、悪路走行をすると、ノブのユルミによりルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



ルーフボックスに下記の物は積載しないでください。

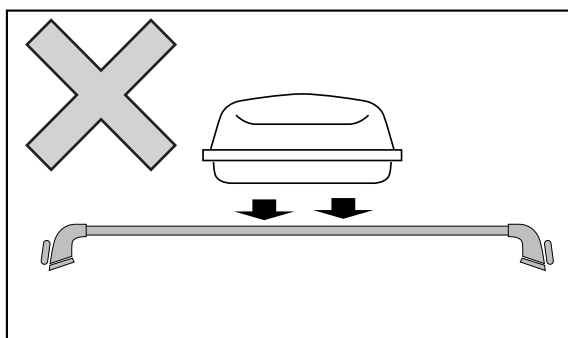
1. 高圧ガスを使用した各種スプレー缶
2. 可燃性のあるガソリン、白灯油など
3. 精密機器
4. 生き物（ペットなど）
5. 生もの（野菜など）

ルーフボックスは直射日光にあたることにより、内部が高温になります。上記の物を積載すると、爆発や火災、脱水症状による死亡などの重大な事故の原因となります。また、高温による損傷や変形、腐敗のおそれがあります。



ルーフボックスは改造しないでください。

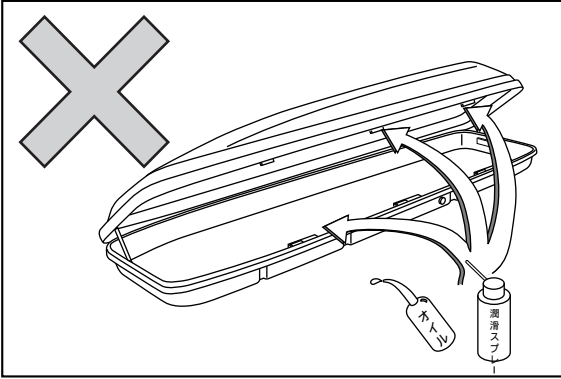
穴を開けるなどの改造を施すと、確実な固定ができず、ルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。



他メーカーのキャリアへの取付けはしないでください。

他メーカーのキャリアへ取付けると、確実な固定ができず、ルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

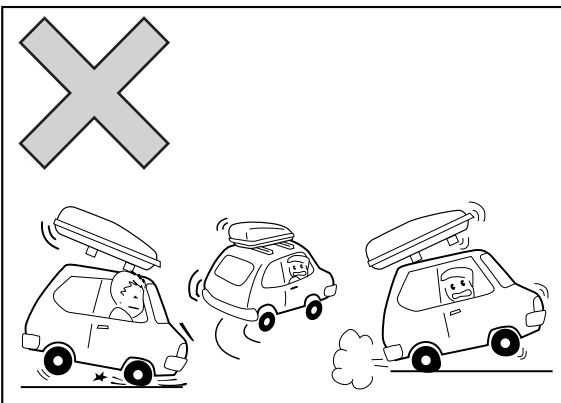
警告



潤滑スプレー、油、グリスなどをルーフボックスのダンパー、ヒンジなどの金属部分やルーフボックス表面に塗らないでください。

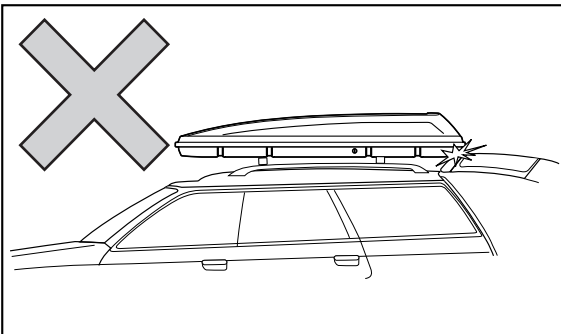
潤滑スプレー、油、グリスなどを使用すると、ルーフボックスの樹脂が侵され、割れなどが発生することによりルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

注意



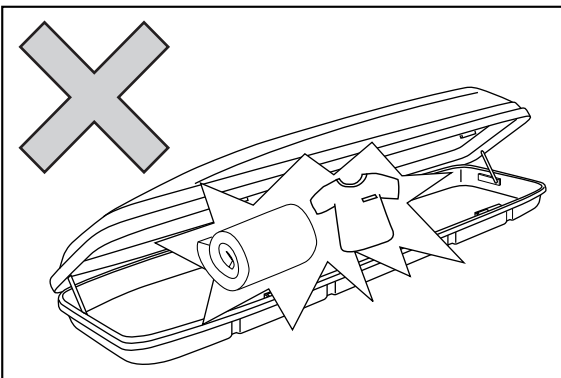
急発進、急ハンドル、急ブレーキはなるべく避けてください。また、やむを得ず無理な走行をした場合は、必ずキャリアとルーフボックスの取付状態を確認してください。

積載時に、急発進、急ハンドル、急ブレーキをすると、ルーフボックスの取付位置がずれて車両や製品が損傷するおそれがあります。



リアゲートなどをルーフボックスに当てないようにしてください。もし、当たる場合は、リアゲートなどとルーフボックスの接触部にクッション材などを貼ってください。また、当てた場合は必ずルーフボックスの取付状態を確認してください。

リアゲートなどを開ける時に、リアゲートなどがルーフボックスに当たると、ルーフボックスや車両が損傷するおそれがあります。



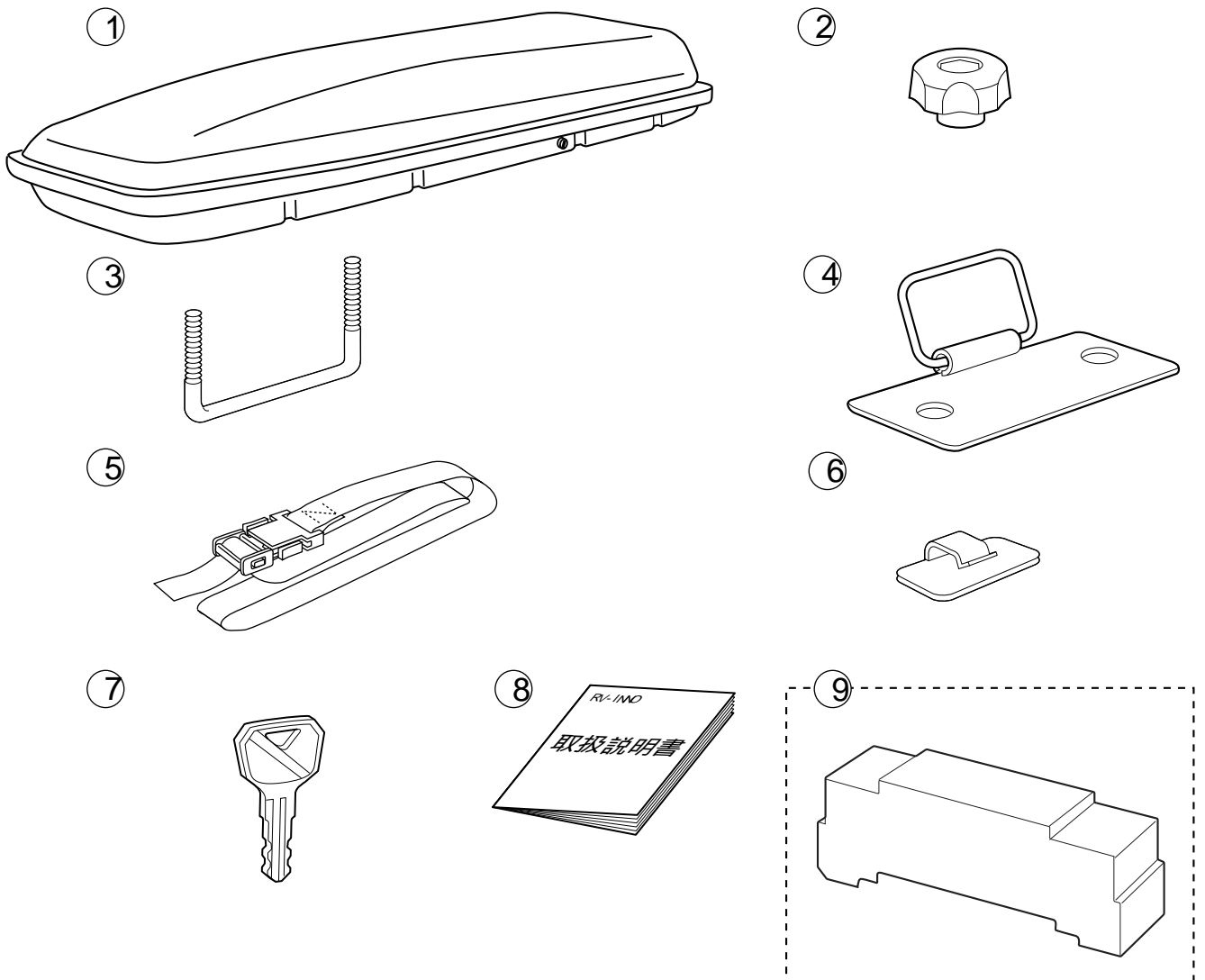
濡れると困る物は別途防水対策を施すか、ルーフボックスに積載しないでください。

ルーフボックスは完全防水構造ではないので、強い雨などにより荷物が濡れるおそれがあります。

部品内容を確認する

本品には、次の部品が入っています。内容が正しいかどうか確認してください。
万一、不足部品がありましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

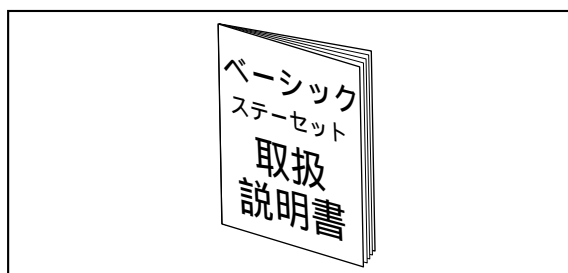
NO.	部品	数量
①	ルーフボックス	1
②	ノブ	8
③	じボルト	4
④	プレート	4
⑤	ベルト	2
⑥	ベルトフック	2
⑦	キー	2
⑧	取扱説明書（本書）	1
⑨	サポートブロック サポートブロックが付属していないモデル もあります。	2



取付方法

準備
1

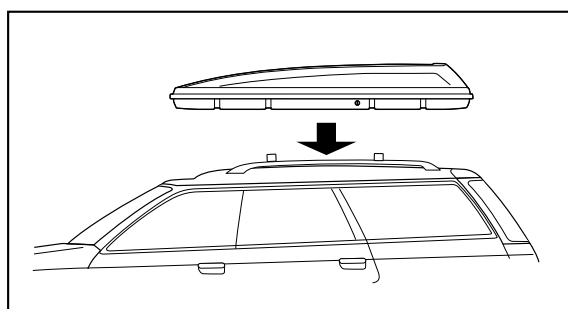
ステー・バーを車両に取付ける



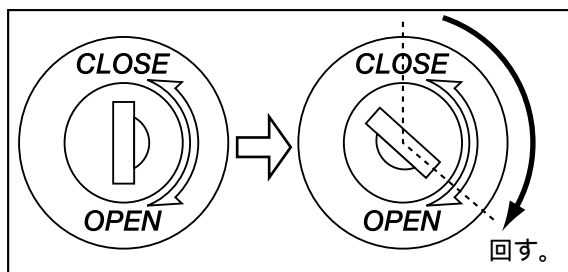
1 ステー・バーをベーシック・ステーセットの取扱説明書に従って正しく取付ける。

取付
1

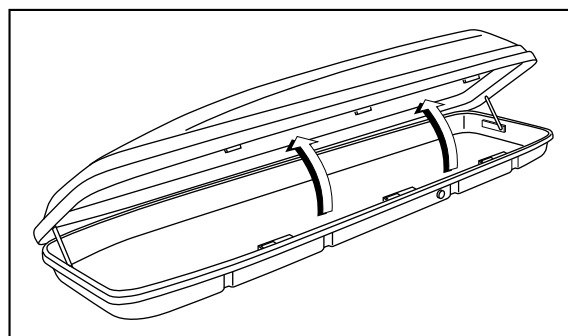
ルーフボックスの取付位置を決める



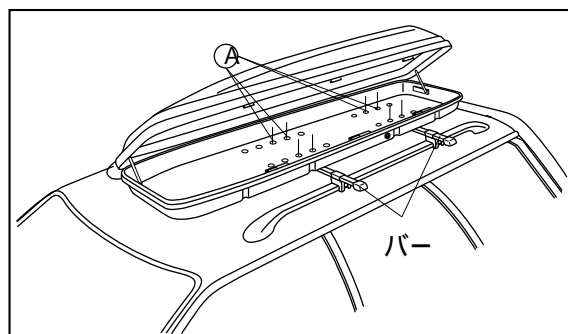
1 ルーフボックスをバーの上に仮置きする。



2 カギ穴にキーを差し込み、キーを "OPEN" の方向に回す。



3 ルーフボックスのカバーを持ち上げる。



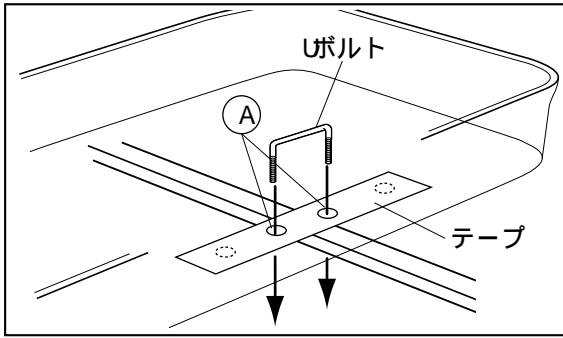
4 ルーフボックスをずらしながら、ルーフボックスの取付穴 ㉠と前後のバーをあわせて、取付位置を決める。

参考

ルーフボックスの取付穴と前後のバーの間隔が合わないときは、バーをずらして合わせてください。

取付
2

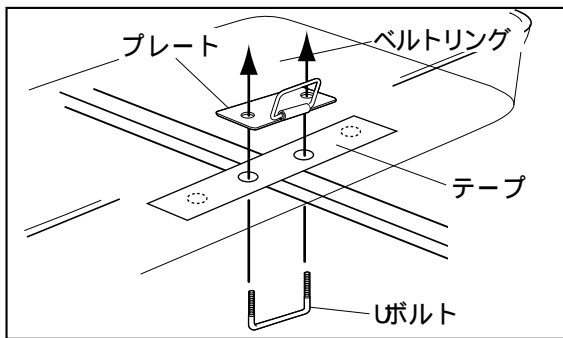
ルーフボックスを取付ける



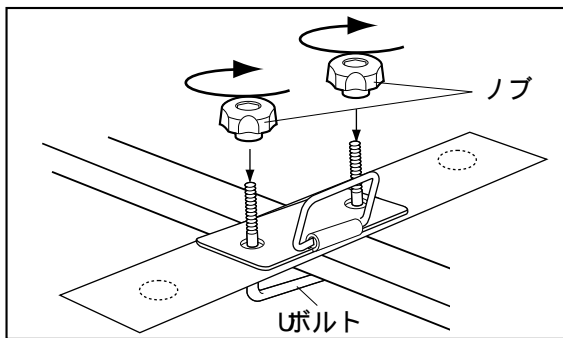
1 バーと合わせた取付用穴(A)を、上に貼ってあるテープの上側からボルトで突き破って開ける。

参考

下側から突き破るとテープがはがれます。



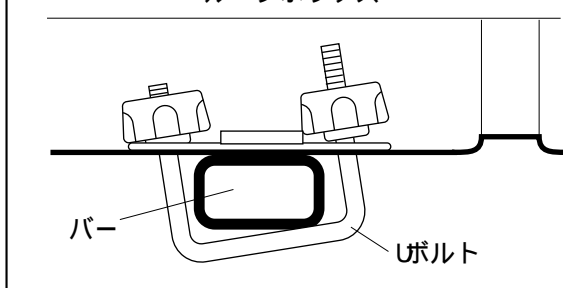
2 プレートを、ベルトリングを外側にして開けた取付用穴に合わせて置き、ボルトをバーの下からプレートの穴に通す。



3 ボルトに、ノブを左右交互に締め込み、固定する。



ルーフボックス



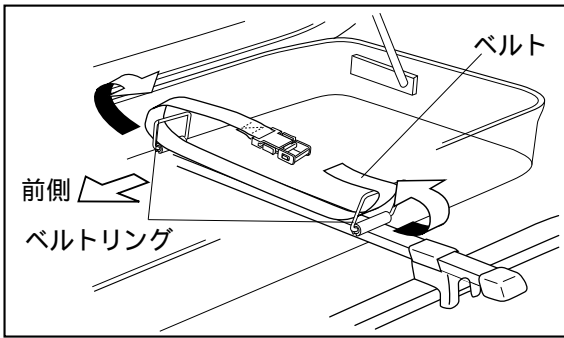
警告

ノブは左右交互に締め込み、必ずボルトがルーフボックスとほぼ平行になるように取付けてください。

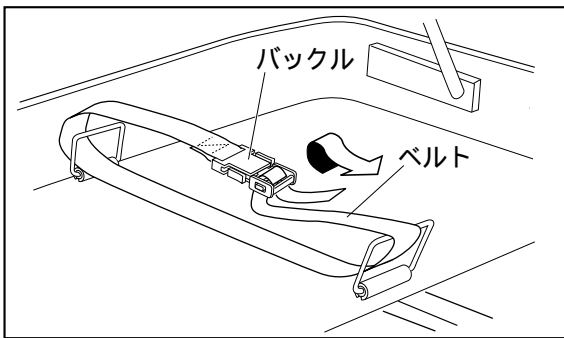
ボルトがルーフボックスと平行でないと、ユルミが発生し、ルーフボックスが脱落し、後続車や人を事故に巻き込むおそれがあります。

取付
3

ベルトを取付ける



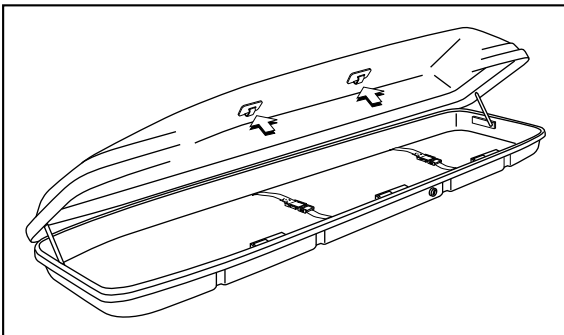
1 ベルトをベルトリングに通す。



2 ベルトをバックルに通す。

取付
4

ベルトフックを取付ける



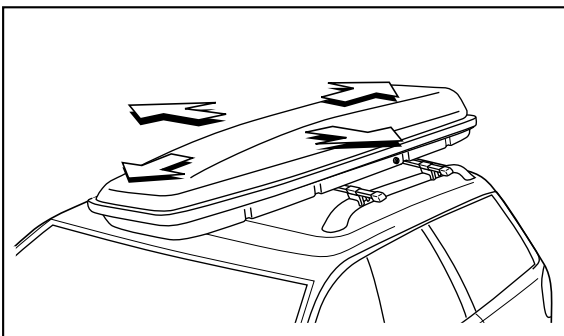
1 ベルトフックを取付けたベルトの上方、カバー内側のベルトの掛けやすい位置に貼り付ける。

参考

ベルトフックは貼付後、ベルトを掛けずに24時間放置するとしっかり付きます。

取付
5

ルーフボックス取付後の確認



1 ルーフボックスを前後左右にゆすり、ノブのユルミによるガタツキがないか、キャリアに確実に固定されているかを確認する。

使用方法

使用
1

荷物を確認する

荷物は以下の条件を守ってください。(詳しくはP3~ 4参照)

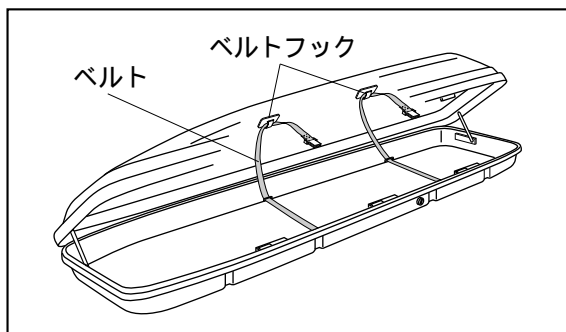
危険物、生きもの等は積載禁止。
最大積載量 50kg以下。
荷物は、1ヶ所に集中させずに重量配分をする。

参考

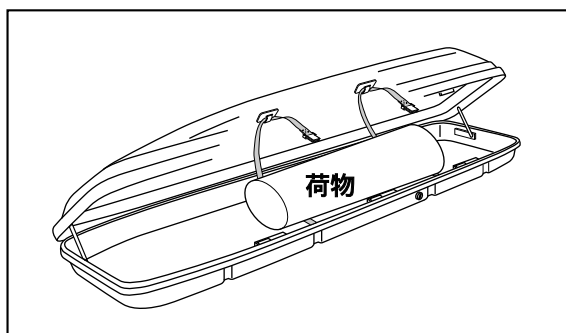
BR400系は、スキー 4~ 6セット、スノーボード 2~ 3台積載可能です。
BR600系は、スノーボード 4~ 6台積載可能です。
バインディングの大きさや車両の最大積載量により積載台数は異なります。

使用
2

荷物を積載する

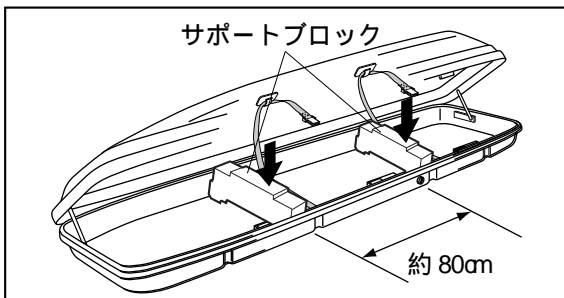


1 ベルトのバックルを外し、ベルトをベルトフックに掛ける。

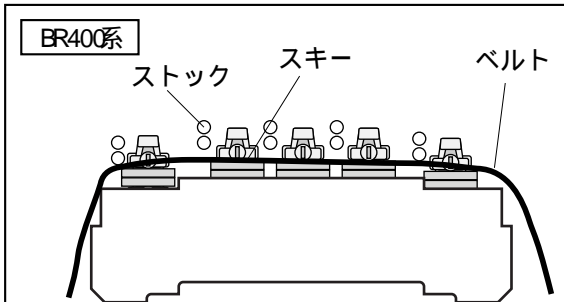


2 荷物を積載する。

サポートブロック使用方法



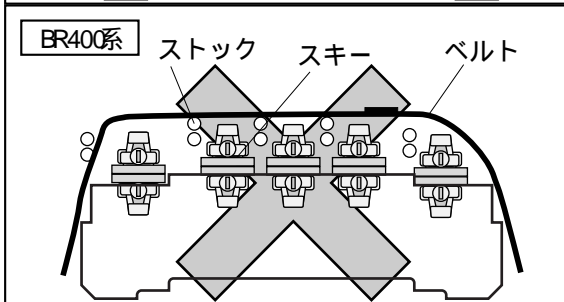
- 1 サポートブロックをはめる。
付属のサポートブロックを約 80cm間をあけてルーフボックスにはめる。
(積載する板によって、ルーフボックスと板が干渉しない位置に調整する。)



スキーの積載方法

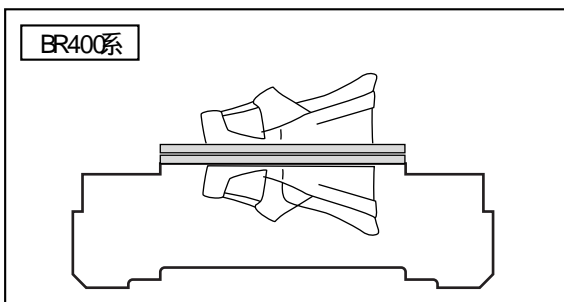
サポートブロックの上にスキーを積載する。ストックはスキーとスキーの間や空いているところに積載する。

スキー・ストック各5セット積載可能



▲注意

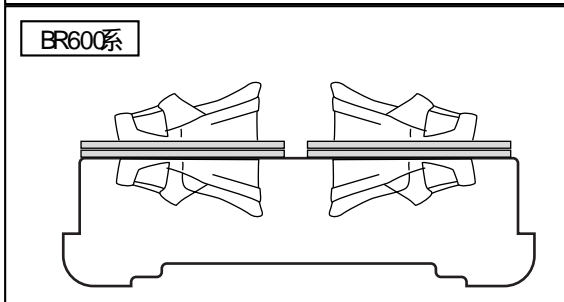
ストックを積載した後にベルトを締め付けると、ストックが損傷するおそれがあります。スキーをベルトで締め付けた後にストックを積載してください。



スノーボードの積載方法

サポートブロックの上にスノーボードを積載する。

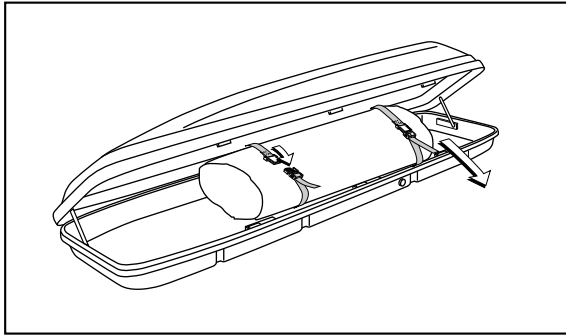
BR400系はスノーボード 2台、
BR600系はスノーボード 4台積載可能



- 2 ベルトフックに掛けたベルトを外し、バックルをはめてベルトを締め付ける。

参考

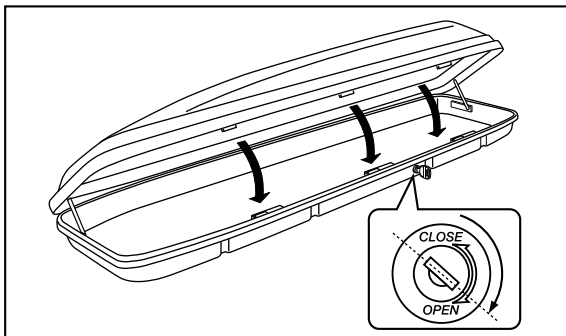
BR400系には、別売の「BRP2サポートブロック」(¥7,500)を使用すると、スキー、スノーボードの傷つきを防止し、積載も簡単になり、便利です。



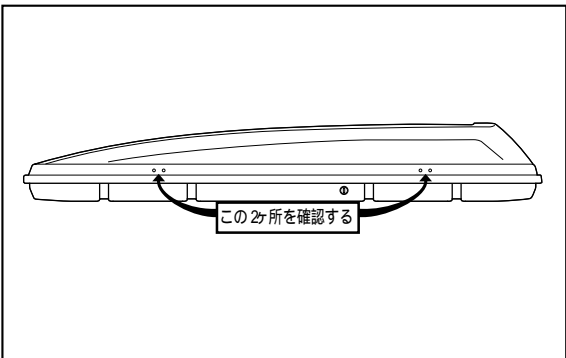
3 ベルトフックに掛けたベルトを外し、バックルをはめてベルトを締め付ける。

使用
4

カバーを閉める



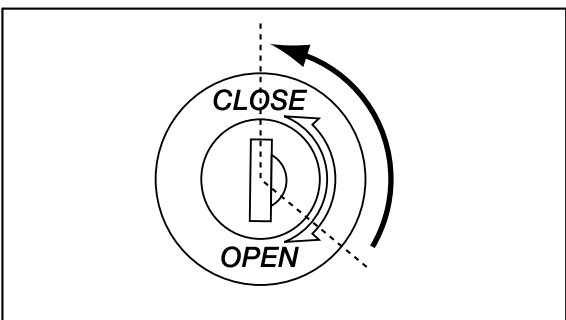
1 キーが "OPEN" の位置にあることを確認して、キーフックがフック穴に確実に入るようにカバーを閉める。



▲注意

カバーを閉める際は、2ヶ所のキーフックがフック穴に確実に入っていることを確認してください。

全てのキーフックがフック穴に確実に入らずにカバーを閉めると、ルーフボックスが損傷するおそれがあります。



2 カバーを最後まで確実に閉めてから、キーを "CLOSE" まで回してキーを抜く。

📖参考

スキー場など寒冷地ではまれにカギ穴が凍結することがあります。冬季使用の際には、あらかじめ凍結防止のためスプレーグリスなどをカギ穴に注入しておいてください。また、市販の解氷剤のご使用をおすすめします。

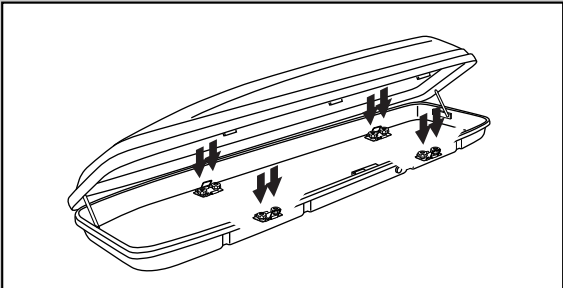
使用
5

走行する

走行する際は、必ず以下の事項を守ってください。

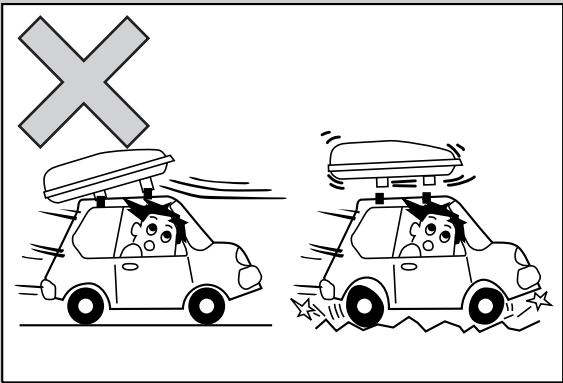


念のため もう一度



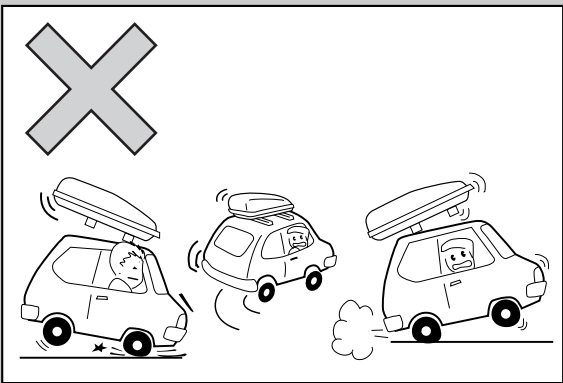
警告

走行前に必ず前後合わせて8ヶ所のノブを点検し、ユルミがある場合は増し締めしてください。



警告

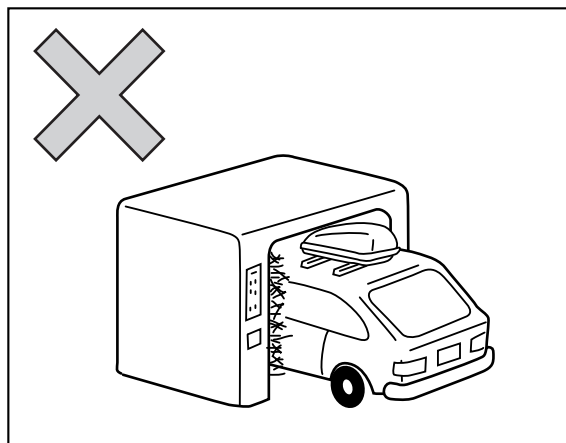
法定速度を守り、強風時や悪路では、特に速度を落として走行してください。



警告

急発進、急ハンドル、急ブレーキはなるべく避けてください。また、やむを得ず無理な走行をした場合は、必ずキャリアとルーフボックスの取付状態を確認してください。

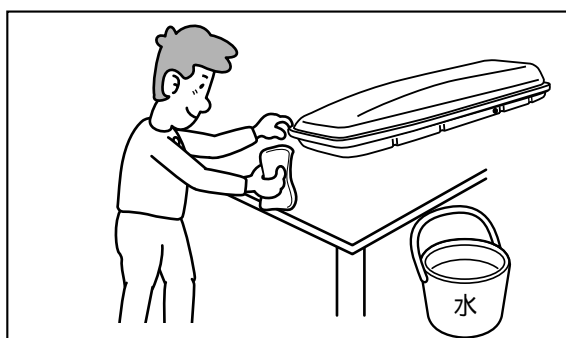
日常のお手入れ



⚠️ 注意

洗車機にかけるときは、ルーフボックスとキャリアを取外してください。誤って、ルーフボックスとキャリアを取付けたままで洗車機にかけた場合は必ずルーフボックスとキャリアの取付状態を確認してください。

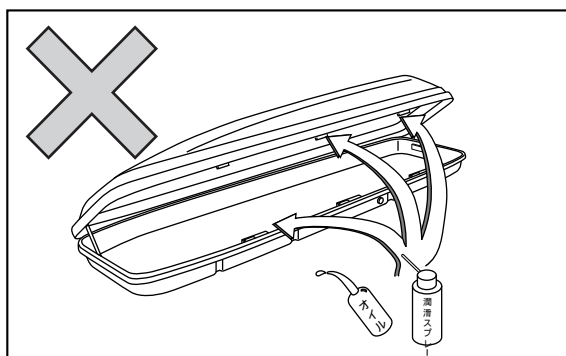
ルーフボックスやキャリアを取付けたまま洗車機にかけると、ルーフボックスやキャリア取付部に無理な力がかかり、ルーフボックスや車両が損傷するおそれがあります。



1 水で泥汚れを落とす。

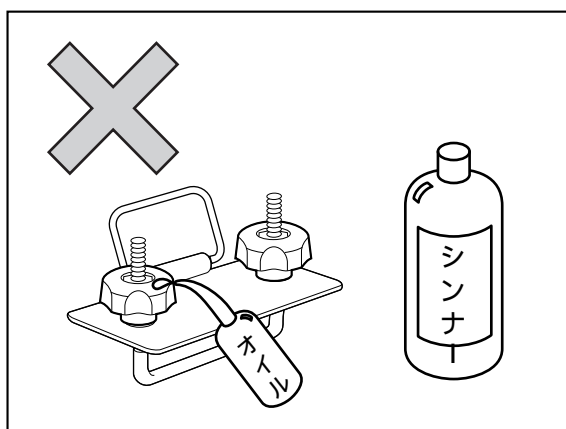
2 水を含ませ固く絞ったタオルで汚れを取除く。

3 日陰でよく乾燥させる。



⚠️ 警告

潤滑スプレー、油、グリスなどをルーフボックスのダンパー、ヒンジなどの金属部分やルーフボックス表面に塗らないでください。

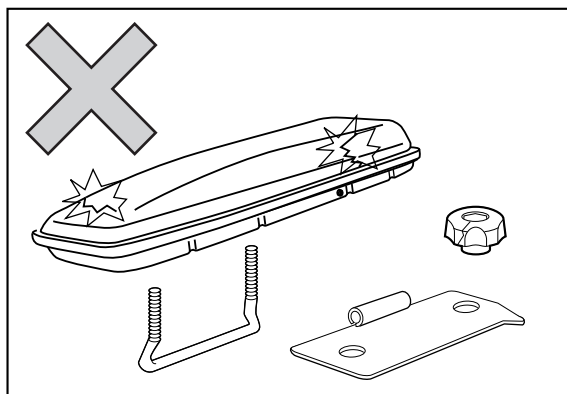


⚠️ 注意

アルコール、シンナーなどの石油化学系の溶剤、コンパウンド入りのワックスなどは使用しないでください。
ノブへの給油はしないでください。

保管方法

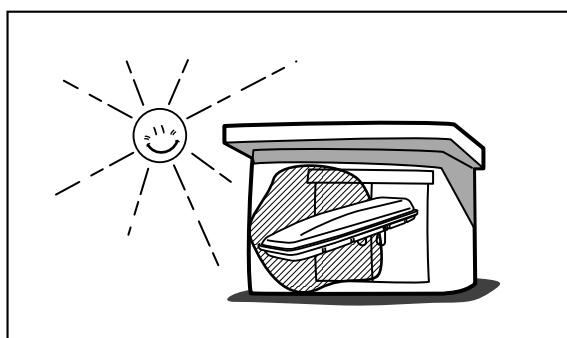
各部の点検をする



- 1 ルーフボックスを清掃し、各部に異常がないかを点検する。

点検方法

ルーフボックスに亀裂や破損がないか点検する。もし亀裂や破損があれば使用しないでください。
ボルト、ノブが変形、破損していないか点検する。もし変形、破損していれば交換してください。



参考

ルーフボックスやキャリアを使用しないときは、雨や紫外線などによるサビや劣化などを防ぐために、車両から外して保管してください。
キー、取付金具などの小物部品は、まとめてビニール袋に入れて紛失しないように保管してください。

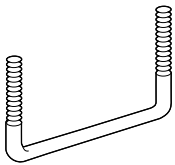

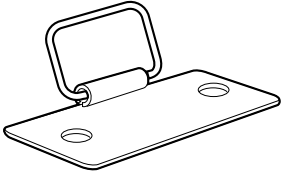
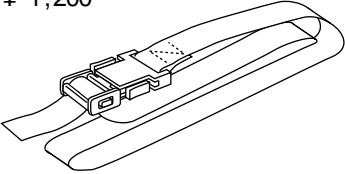



純正補修パーツのご案内

本品には下記の純正補修パーツがあります。お求めの際は、キャリアを購入された販売店にパーツ またはパーツ名を指定してご注文ください。

参考

本書に記載する価格には消費税は含まれておりません。

本品及び純正補修パーツの仕様と外観は改良等のため予告なく変更することがあります。

取付セット ISP-94 ¥750	ボルト(体)	ノブ(2個)	プレート(個)
			
ベルト(2本) BR400系 ,BR150系用 ISP85(1.0m) BR600系用 ISP198(2m) ¥ 1,200	ベルトフック ISP682(2ヶ 組) ¥ 160	キー(個) ¥ 800 キーNo.を 確認してください。	取扱説明書(部) ¥ 300
			

株式会社 **カーメイト**